

茨城県常陸太田市立太田小学校（学校長 村田 規）

実施日	平成19年12月11日（火）	時間	午前9時40分～午後1時
実施場所	体育館，3学年教室	対象/人数	3年生 106名
担当教諭	萩谷 ひろみ	ファシリテーター	辻 真利子
講師	アンバー チャン（オーストラリア 県国際交流員） オレリアン・パロン（フランス 県国際交流員） パーコフィー・エイキンス（ガーナ）		

活動内容

オーストラリアコーナー/フランスコーナー/ガーナコーナー
それぞれのコーナーで言葉、遊び、気候、食べ物、行事などについて学習

ふれあいタイム（ ×クイズ・ゲーム）

ふれあいランチタイム

児童の感想

・オーストラリアのお金は、プラスチックでできていて、曲げられるし、やぶれないからいいと思いました。なんとも不思議なお金だと思いました。動物では、羊が人間の9倍で、カンガルーが人間の2倍もいるなんてびっくりしました。また、オーストラリアの真ん中は砂漠で、人がほとんど住んでいないということにも驚きました。クリスマスは夏で、日本と大違いだということがわかりました。フランスのパロンさんはとても陽気な人で、初めに曲に合わせてエアギターをしてくれたのがすごかったです。アメリカにある自由の女神は、フランスで作っていてアメリカに船で運んだということが初めてわかりました。ガーナは、家族を大事にし、小学生の頃から男の子も女の子も家の手伝いをしていてすごいと思いました。道で会った人にもきちんとあいさつをするそうです。おもちゃは買った物ではなく、家の人が作ってくれた物で遊ぶことや、小さいときから楽器に親しんでいることがわかりました。この次は、いろいろなことを質問したいです。

先生の感想

・事前に、来てくださる方の国についてインターネットで調べていたこともあり、とても楽しみに待つことができました。今回は、オーストラリア、フランス、ガーナの方を講師としてお招きしましたが、講師の方々の準備がとてもよく、児童は十分に異文化に触れることができ、触れ合うという目的は達成できたかと思えます。今回は1回目ということで、主に講師の方から話を聞くという活動であったため、質問したいことを聞くことができなかつたのは仕方がないかとも思いました。

成果と課題

・本校でワールドキャラバンを実施するようになって5年目を迎えます。第3学年の児童が楽しみにしている伝統的な活動となっています。当日は、3人の講師の方々が実に気さくに児童と触れ合ってたので、児童もすぐに打ち解けて積極的に活動に参加する姿が見られました。各国のコーナーでは、興味をもって熱心に話を聞くことができ、その国についてのたまかなことを知ることができました。児童の感想から、さらにもっと知りたい、聞いてみたいという意欲が高まった様子が伺えました。

・今回は、各国20分の学習時間を取りましたが、時間が足りないようでした。しかし、3カ国全てをどの児童にも体験させたいという目的と、講師の先生が学校に着く時刻や帰る時刻を考えると限りがあり、結局20分程しか取れないのが現状でした。また、途中何度もファシリテーターの方と時間配分を調整しながら進めましたが、講師の方にも時間配分を十分理解していただければ、予定した時間の中で活動を展開することが可能であったかもしれません。

・次回のワールドキャラバンでは、今回の反省を土台にして、最も興味をもった国を1つ選ばせて、児童のもっと知りたいこと、疑問に思っていることを直接聞くことができるように、事前の計画をしっかりと行って臨みたいと思います。

